

国際政治

113

マルチメディア時代の国際政治

日本国際政治学会編

序説 国際政治学のマルチメディア的転回	薬師寺 泰 蔵
知的財産権問題の理論的分析枠組	遠 矢 浩 規
マルチメディア時代の軍事技術の極限化と国家の存続	加 藤 朗
マルチメディア時代の産業・技術政策	村 山 裕 三
グローバル・ネットワークと電子金融	須 藤 修
マルチメディア化が経済・社会に与える影響について	松 原 隆一郎
情報革命と大国の興亡	西 和 彦
情報基盤建設のパラダイムと国家の役割	山 内 康 英
通信ネットワーク時代における学術研究の変容	筒 井 洋 一
<hr/>	
第三次中東戦争に至る政治過程と米国の「関与」	鹿 島 正 裕
東条内閣と「国策再検討」	森 山 優
中国外債整理交渉における幣原外相と重光駐華臨時代理公使	服 部 龍 二
<hr/>	
<書 評>	
石田憲著 『地中海新ローマ帝国への道』	村 上 信一郎
石井修著 『世界恐慌と日本の「経済外交」』	小 野 直 樹
高橋秀直著 『日清戦争への道』	檜 山 幸 夫
和田春樹著 『朝鮮戦争』	石 井 明
李鐘元著 『東アジア冷戦と韓米日関係』	中 達 啓 示
P・エヴァンス、H・ジェイコブソン、R・パットナム編 『両刃の外交』	渡 辺 昭 夫
野林健著 『管理貿易の政治経済学』	
古城佳子著 『経済的相互依存と国家』	大矢根 聡
菊地努著 『APEC』	武 田 康 裕
土屋健治著 『インドネシア』	斎 藤 正 寿

1996年12月刊